

平成30年度 体力づくりアクションプラン(提出用)

南港桜

小学校

児童数

76

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	13.97	19.00	33.76	36.00	42.03	9.35	142.81	22.19	50.33
大阪市	16.49	19.23	32.34	39.54	49.98	9.37	149.36	22.61	52.79
全国	16.51	19.92	33.15	41.95	52.24	9.37	151.71	22.53	54.16
女子	15.19	16.91	35.95	34.19	34.31	9.49	140.33	13.78	51.71
大阪市	16.18	18.20	37.06	37.88	39.64	9.60	143.32	14.07	54.58
全国	16.12	18.81	37.43	40.06	41.62	9.60	145.47	13.94	55.72

結果の概要

○全体的に男女ともに全国・大阪市平均を下回っている。男女別にみると、(男子)上体起こし、長座体前屈、50メートル走、ソフトボール投げにおいては、全国・大阪市平均にはほぼ近い値となっている。しかし、握力、反復横とび、シャトルラン、立ち幅とびにおいては、大きく下回っている。
(女子)50メートル走は、全国・大阪市平均を上回っている。立ち幅とび、ソフトボール投げにおいては、全国・大阪市平均にはほぼ近い値となっているが、握力、長座体前屈においては少し下回り、上体起こし、反復横とび、シャトルランにおいては、大きく下回っている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

(これまでの取組の成果)

今まで課題であった体力が低いことを鑑み、基礎体力向上を目指していこうと目標を掲げ、体育の授業、運動会、走れ走れ大会、球技大会等において、走ることを重視してきたり、休み時間では、運動場遊びをすすめてきたりした結果においては、50メートル走の値に成果が見られた。その反面、持久走(シャトルラン)の値には、成果が見られなかった。その他の項目の運動能力においては、全国・大阪市平均と比べると、まだまだ課題があると言える。

(今後取り組むべき課題)

・引き続き基本体力向上をめざしていく。運動する機会や内容を検討し全体的に運動量が増加する工夫をしていく必要がある。中でも、運動することが苦手な児童の運動量をどう向上させるかを検討していくことが大事であることを、教職員の共通理解として、学校・学年・学級の連携した中で取り組んでいく体制づくりをしていく。・運動の種目には、あまり取り組んでいないものがあり、慣れていないことが数値に影響しているのではないかとの疑問があるため、低学年から児童の実態に応じて取り組んだり、年間2回以上は取り組んでいけるようにしたい。